

**2023年3月期 決算説明会 質疑応答要旨**

株式会社 平和  
経営企画グループ

2023年5月18日に開催いたしました「2023年3月期 決算説明会」における質疑応答の要旨は以下のとおりです。

**【ゴルフ事業】**

**Q1. ゴルフ事業について、売上高は3.4%増収、営業利益は16.6%増益と収益性が高まる計画の背景を教えてください。**

A1. ゴルフ事業の計画は、ゴルフ人気を背景に若年層や女性の方など来場者の年齢層の幅が広がっており、加えて他社との差別化施策として「withGolf」「Cool Cart」の拡充やスループレーなどの新たな運営スタイルへの取組みにより来場者の増加及び顧客単価の上昇を見込む。また21年、22年に取得したゴルフ場が通期で業績に寄与、集中購買などによるコスト削減により利益拡大を図る。一番のポイントは来場者の増加だと考えている。

**【遊技機事業】**

**Q2. スマート遊技機の足元の普及状況について。**

A2. スマートパチスロは、業界全体として2023年3月末時点で約15万台販売された。スマートパチンコは、今年4月から登場し5月中旬までで3.5~4万台と言われている。

**Q3. 2024年3月期は業界全体でスマート遊技機はどの程度普及するのか。**

A3. 電子部品の供給不足の影響で台間ユニットの不足が続いており、年内は45万台程度の供給と言われている。その内訳は、スマートパチスロ30万台程度、スマートパチンコ15万台程度と、現時点ではスマートパチスロが多めに販売されていく想定でいる。

**Q4. 台間ユニットについて供給が不足している具体的な部品は何か。また電子部品メーカーによる優先順位の都合でパチンコ業界への供給が遅れているのか。**

A4. パチンコ業界で使用する半導体メモリーの電子部品は、自動車・PC・スマートフォンなどで使用する最新鋭の部品と異なり旧型の電子部品となる。世界市場で不足している必需品から供給が優先されて、その後当業界へ供給されるのだが、旧型の電子部品となるので、電子部品メーカーとしては需要があれば製造するかたちになるため、供給の遅れに繋がっている。来年以降については、徐々に状況は回復すると想定している。

**Q5. 2025年3月期の成長イメージは。**

A5. 一番重要なのは市場の状況となる。ホール軒数の減少がどの程度で下げ止まるのかが業界の大きな課題だった。昨年の統計では遊技人口は増加しており、その要因はスマートパチスロと言われている。今年は休眠層が戻り、遊技人口が増加し、ホールの倒産件数が減少する状況が徐々に表れてくると言われている。その状況になれば、スマート遊技機が投入できる方向となり市場は回復傾向となる。次に販売台数については、一番大きな試金石となるのが、スマートパチスロであり、各メーカー切磋琢磨して、ヒット機種種の創出に注力している。また、今年4月から導入しているスマートパチンコについては、市場でどのような評価になるのかが、また一つの試金石となる。スマートパチンコ・スマートパチスロがともに良い方向に向かったときには、市場は拡大路線に走っていくと考えている。

もう一つ、業界として期待しているのが、スマート遊技機の専門店（コンビニパチンコ）で、コンビニサイズの100台から200台程度の小型店舗がオープンしている。ホール軒数の増加が期待できると業界では考えている。